



下野市立南河内第二中学校

平成29年度

# 校長室だより

第2号

H29.4.20  
発行者  
上野 保久



## 二中の組織の代表が決まりました。よろしくお願ひします。

平成29年度の本校の組織について、代表者が決まり、19日（水）に任命式を行いました。生徒達には、みんなで選んだリーダーと協力し合って良い学級、良い学年、良い学校を作っていきましょうと言いました。先生方には、「生徒の自治の心が育つよう」に、ご指導をお願いしてあります。「自治の心」とは「自分たちで自分の生活をよくしていこうという気持ち」です。本年度も、生徒の皆さんには、大いに期待したいと思います。

生徒会本部役員

専門委員会委員長・副委員長



生徒会長	
副会長	
書記	
会計	

	委員長	副委員長
保健委員会		
美化委員会		
図書委員会		
放送委員会		
給食委員会		
生活委員会		
福祉委員会		
広報委員会		



第1学年	学級委員	第2学年	学級委員	第3学年	学級委員
1年1組		2年1組		3年1組	
1年2組		2年2組		3年2組	
1年3組		2年3組		3年3組	
		2年4組		3年4組	

敬称略



## これはおすすめ私の一冊



『超訳 菜根譚 ～人生はけっして難しくない～』

境野 勝悟（さかいの かつのり）著 知的生きかた文庫 571円

『菜根譚』は、中国の古典で、明の時代末期の人、洪自誠（こうじせい）の書いたものです。儒教・道教・仏教の教えを交えて、生き方の極意書として、古来より日本でも親しまれてきました。本書の著者境野氏は、鎌倉円覚寺龍隠庵（りょういんあん）の会首という立場で、85歳になった今でも講演会活動等に活躍中です。まさに、人生の達人が、生き方の極意書を、分かりやすく、しかも親しみ深く解説していると言える書です。7章97の項目を短編にまとめ、どの項目から読んでも、ふと自分を振り返ることができ、勉強になります。

～本文「はじめに」より～

「菜根譚」の「菜」は、野菜。「根」は、大根。「譚」は、お話。つまり、お野菜と大根さんのお話というわけだ。いくら高級な思想でも、難しく、チンプンカンプンでは、中身のない話と同じだ。「菜根譚」は、野菜や大根のように、身近で、気楽に打ちとけて、親しく読める。たった一回こっきりの自分の人生。どう生きたらいいのか・・・「菜根譚」には、大切な今日一日を、どんな心持ちで生きたらいいのか、身近で、すばらしく、素敵な知恵が、次々、出現する。

## お知らせ

- 本年度より平成31年3月末まで、本校は下野市教育委員会から『施設分離型小中一貫教育推進学校』に委嘱されました。

これは、二中学区の小中学校が、9年間を通した一貫教育を推進しようというものです。これまで、小中の連携はよくとっておりましたが、今後、二中と祇園小と緑小の3校で、小中一貫した有効な教育ができるよう、指導や活動についてよく協議していきたいと思えます。ご理解、ご協力をお願いします。



- 本年度より英語検定料助成金が交付されることになりました。

これは、英語教育に力を入れようという下野市教育委員会が助成金交付を行うものです。具体的には、下野市立中学校に在籍している生徒で、英検3級以上を受験する受験生に対し、検定料の2分の1を、年に1回だけ助成するというものです。近いうちに、英語科教員から説明があると思えます。これから受験する生徒は、この制度を利用して、ぜひ交付を受けてもらいたいと思えます。



## 校長室の窓から

- 運動部では、15日（土）、16日（日）の2日間、下都賀支部大会が行われました。その応援に行ったときのことです。卓球の会場に早く着きすぎて、練習の段階から見ることができました。一台の卓球台を2組の選手が斜めに使って同時に4人が練習をしていました。みんな真剣な表情で、打感の感触を確かめながら、鋭く打ち合いを続けています。すると、2個のボールが、台の真ん中のネット上でぶつかり、左右にはじけました。“こんな奇跡的な場面に出くわすとは、なんとラッキーな・・・。さぞかし、選手も驚いていることだろう”とその様子を見ていました。ところが、4人とも、ほとんどなんの反応も見せずに、ボールを拾い、何もなかったかのように打ち合いを再開したのでした。普段から激しい練習をしている選手たちにしてみれば「よくあること」であって、別段驚くほどのこともなかったのでしょう。なにか、とても『かっこよく』見えました。

